

☆子どもが大切にされる地域づくりを考える☆

2月11日子どもが大切にされる地域づくりを考える学習会を開催しました。テーマは「子ども・子育て新システムは子どもを幸せにするの？」でしたが、多くの問題点が出され、次世代を育てる社会的使命に照らしてもとんでもない制度であることが共通認識となりました。制度全体を貫く「市場化原理」で子どもたちの成長発達は保障されないことが明らかになりましたが、より深く学び合うことが要望され、第3弾を下記のように開催することになりました。多くの方の参加を呼びかけます。

第3弾!

- ・多様な保育サービスが待機児童を解消するというが、多様なサービスの内容とは？
- ・保育労働・保育現場の貧困実態を検証。
- ・地域自治体の果たすべき役割とは？

「子ども・子育て新システム」は子どもを幸せにするの？



◇ 話題提供

山下 由紀夫 氏

旭川大学短期大学部教授

元東川町教育委員会社会教育主事、特区で実現した幼保一元化施設「東川町幼児センターももんがの家」開設に関わり、その後、園長も勤めました。

3月29日（木）午後6時30分～8時30分

■ 札幌エルプラザ4階中研修室A, B

(札幌市北区北8条西3丁目 JR札幌駅北口 地下道直結徒歩3分)

■ 参加費 会員 300円 非会員 500円 (資料代として)

(※学生無料)



■ 主催

・北海道地域・自治体問題研究所

「医療・福祉部会」子ども・子育て支援研究会

電話 011-837-8261

FAX 011-837-8262

E-mail: whitedojichiken@yahoo.co.jp

・地域・子ども研究会 (代表 井上大樹)